



MS320-28018/19 (イルミ付)  
MS320-28020/21  
フロントグリル

取付・取扱要領書

この度はTRDフロントグリルをお買い上げいただきありがとうございます。  
本書には本商品の取付け・取扱いについての要領と注意事項を記載してあります。  
取付け前に必ずお読みのうえ、正しい取付け・取扱いを実施してください。  
なお、本書の取扱い上のご注意(ご使用になるお客様へ)は必ずお客様にお渡しください。

- 本商品は未登録車への取付けはできません。必ず車両登録後に行ってください。

### 品番・適合一覧表

品番	塗装色	備考
MS320-28018/20-A0	ホワイトパールクリスタルシャイン(070)	ヴォクシー V・X用(HYBRID含む) '17.07~
MS320-28018/20-C0	ブラック(202)	
MS320-28018/20-C1	ブラッキッシュアガハガラスフレック(221)	
MS320-28018/20-C3	付スズマパールクリンクガラスフレック(224)	
MS320-28019/21-NP	未塗装品(プライマー処理品)	

・最新の適合情報はTRDカタログサイトをご覧ください。 <http://www.trdparts.jp/>

### ■ 構成部品

品名	個数	備考
フロントグリル	1	
ラバーワッシャー	4	
取付・取扱要領書(本書)	1	本書

確認・本商品が到着後、すぐに本体に破損がないこと、付属品が全てそろっていることを確認してください。

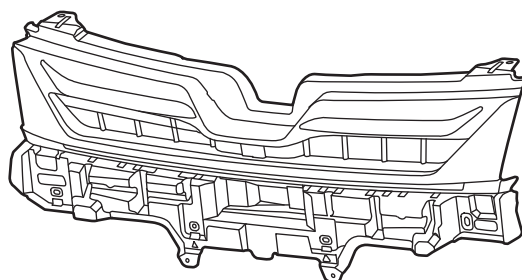
以下、MS320-28018/19-\*\*(イルミ付)のみに同梱

品名	個数	備考
ハーネスA	1	割り込み接続ハーネス
ハーネスB	1	中間接続ハーネス
結束バンド	7	L=150mm
結束バンド 大	2	L=200mm
クッション	1	100×50

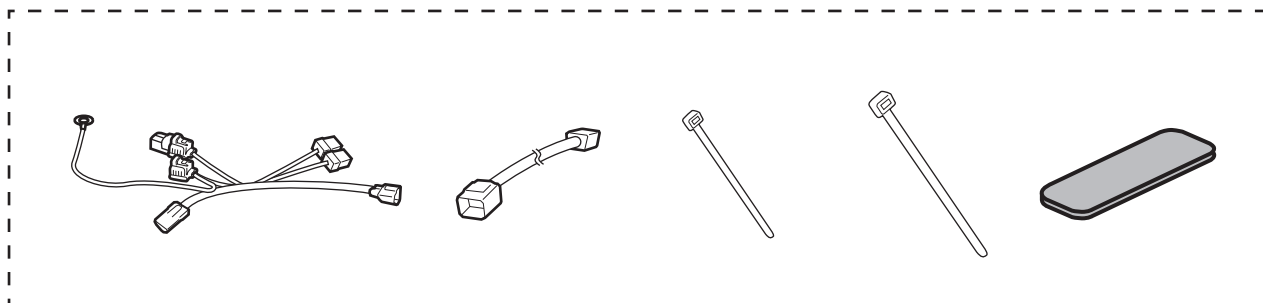
以下、MS320-28019/21-NP(未塗装品セット)のみに同梱

品名	個数	備考
アウター別ピース	1	
リベット	2	黒
PACプライマー	1	K-500

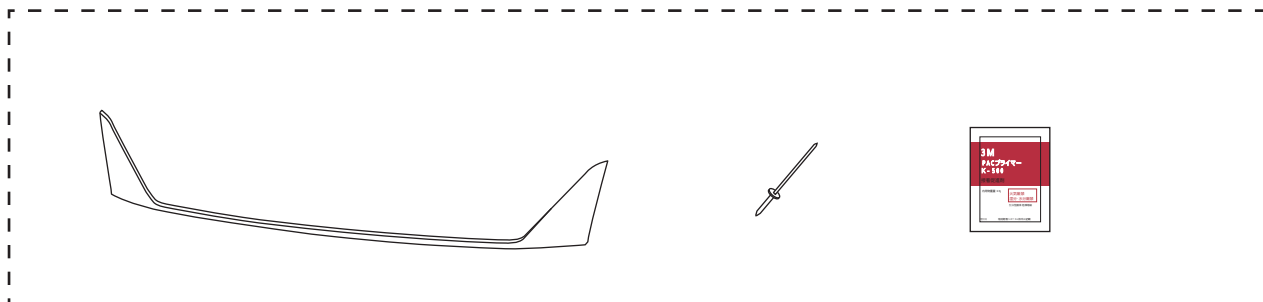
■ 構成部品図



~ はイルミ付にのみ同梱



~ は未塗装品にのみ同梱



# 取付上のご注意（取付作業者の方へ）

作業を行う前に必ずお読みになり、安全で確実な取付け作業を行ってください。



## 警告

この内容に従わず、誤った取付け・取扱いを行うと生命の危険または、重大な傷害等を負う可能性がある内容について記載しています。



## 注意

注意事項を守らないで、誤った取付け・取扱いを行うと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等の恐れがある事を記載しています。



## アドバイス

スピーディに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

### ⊘ やってはいけないこと

### ❗ 必ず行なっていただくこと

## ⚠ 警告

- ⊘ 本商品への改造・加工、及び適合車種以外への装着は、重大な事故や故障を招く恐れがありますので絶対に行わないでください。
- ❗ 本商品の取付け・交換は、該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、本書の注意事項をまもり作業を行ってください。
- ❗ 取付け作業は規定トルクに従って、確実に締付けてください。締め付けが足りないと脱落などにより重大な事故や故障を招く恐れがあります。

## ⚠ 注意

- ❗ 本商品を取付け前に、本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合が無いことを確認してください。取付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには、対応できない場合があります。
- ❗ 本商品の取付けは、キズ付き防止のため保護シートの上で取扱いを行ない、同時に取付け部位を保護材にて養生をした上で作業を行ってください。取付け作業時のキズ付きや破損に十分に注意してください。

## 脱脂作業について（別添の脱脂作業要領も参考にしてください。）

- ❗ 脱脂作業を行う際は、清潔なウエスを使用して、ホワイトガソリン、イソプロピルアルコール(I P A)または「(株)タクティー取扱いのシリコンオフ」を使用して確実な脱脂を行ってください。指定以外のシリコンオフは使用しないでください。
- ❗ 脱脂作業にボディコーティング等の下地処理剤や、パーツクリーナー、ブレーキクリーナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。正しく脱脂が出来ず浮き、剥がれの原因となります。

## 両面テープについて

- ❗ 脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれます。
- ❗ 両面テープは一度貼り付けてから剥がしますと、接着力は低下しますので再貼り付けはできません。
- ❗ 本商品の両面テープは、環境温度が20 以下の低温時には接着能力が著しく低下します。温度が足りないと両面テープが剥がれます。
- ❗ 両面テープの圧着は49N(5kgf)以上(車両が軽く揺れる程度)で確実に行ってください。圧着が足りないと両面テープが剥がれます。
- ⊘ 本商品の取付け後24時間は、洗車や水(水拭きを含む)・雨などが、かからないようにしてください。装着後の注意事項を守らなかった場合、製品の浮き、剥がれの原因となります。

## 未塗装品の塗装作業について

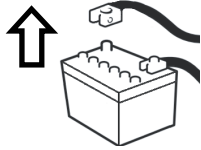
- ❗ 本商品は塗装前に下地処理が必要です、必ずサフェーサー塗装から始めてください。
- ❗ 本商品に塗装をする際は、両面テープを全面マスキングしてください。
- ❗ 乾燥させる際は製品の変形の無いよう固定してください。又、乾燥温度が高いと変形やひび割れを起こしますので70 以下で乾燥させてください。

## 取付けが終わったら

- ❗ 取付け後、本商品と車両との干渉が無いことを確認してください。
- ❗ 作業にバッテリーのマイナス端子を外した場合は、作業終了後にシステム設定・確認を行ってください。

## グリルイルミネーション配線取付け上の注意事項

- ❶ ビニールテープをご使用の際は、必ず難燃性の耐熱ビニールテープを使用してください  
推奨品：V9650-0484（耐熱ビニールテープ・灰色）
- ❷ バッテリー復元作業後は、機能部品に初期化や調整が必要な場合があります。取付け作業後は必ず該当車両の修理書に従い、初期化・調整作業の有無をご確認ください。



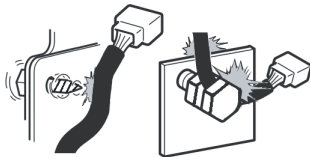
### 取付ける前に

- ・作業前に、必ずバッテリーの⊖側ケーブルをはずす。

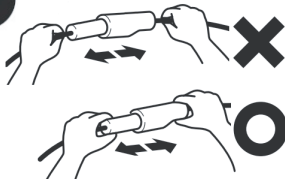


### 部品を取付ける際は

- ・部品サイズにあった工具を使用する。

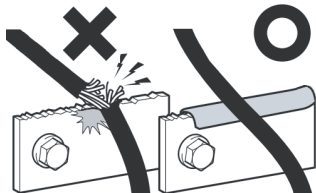


- ・部品の裏側に注意して、配線の噛み込みやビスの接触、断線に十分に注意する。

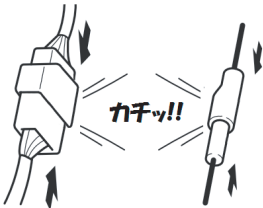


### 配線の取りまわしは

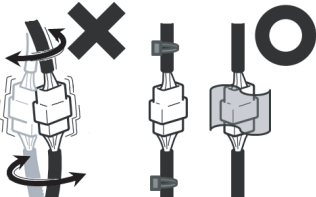
- ・コネクタは必ず本体を持ってはずし、配線は引っ張らない。



- ・バリ・エッジ部は、ガムテープ等で保護をする。



- ・コネクタは「カチッ」と、音がするまで確実に接続して、配線は無理なチカラで引っ張らない。



### 配線のクランプは

- ・結束バンドは配線が動かない程度に締めて、締めすぎない。
- ・結束バンドの余った部分は、エッジにならないようにカットする。
- ・カットした末端が、ほかの配線と接触しないようにする。
- ・コネクタが振動により異音がないように、確実に固定する。

### ⚠ 注意



- バッテリー接続中に作業を行なう際は、エアバックセンサー等に衝撃を与えないように十分に注意して作業を行なってください。

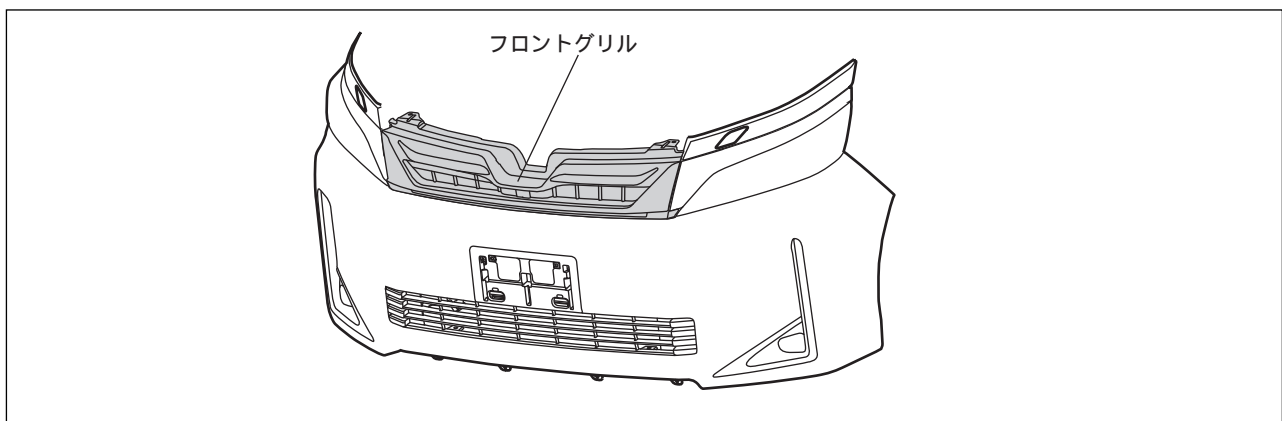
## 目次

1. 表紙、適合表、構成部品表、構成部品図 . . . . . 1 ~ 2
2. 取付け・取扱いご注意(作業の方へ) . . . . . 3、4
3. 目次、取付けに必要な工具・保護具・消耗品、取付構成図 . . . . . 5
4. 取付け要領 . . . . . 5 ~ 14
5. 取付け後の確認・点検・回路図 . . . . . 14

## 取付けに必要な工具・保護具・消耗品

- ・加工用工具(ハサミ、カッター、ニッパー等)・ヤスリ・リベッター
- ・保護メガネ・軍手・保護シート・保護テープ・マスキングテープ
- ・ホワイトガソリン又はイソプロピルアルコール(IPA)・清潔なウエス

## 取付構成図

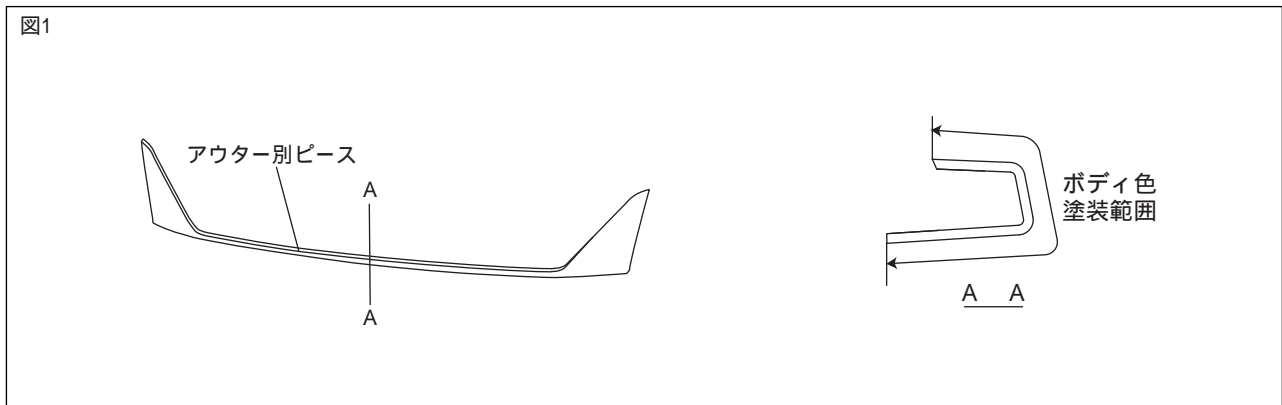


## 未塗装品の取扱いについて

下記は、未塗装品(MS320-28019/21-NP)の塗装前、塗装後の作業を記載しています。下記要領に従い作業を行ってください。

## フロントスポイラーの塗装

本取付・取扱要領書は、主にLHを示しております、RHも同様に行ってください。



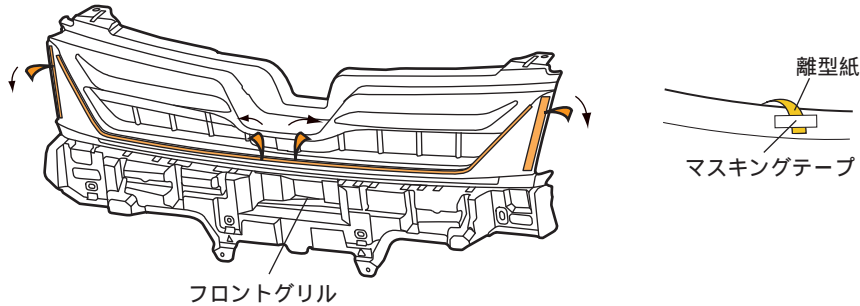
1. 図1のようにアウター別ピース をボディ色で塗装する。

⚠注意：脱脂をする場合は、IPA又はホワイトガソリンを使用し、シリコンオフおよびシンナーは使用しないでください。プライマーが溶ける恐れがあります。

⚠注意：乾燥温度を70 以上に上げますと、製品に変形や割れが発生しますので乾燥温度には十分注意してください。強制乾燥させる場合は製品が変形しないように固定してください。

## アウター別ピースの貼付け

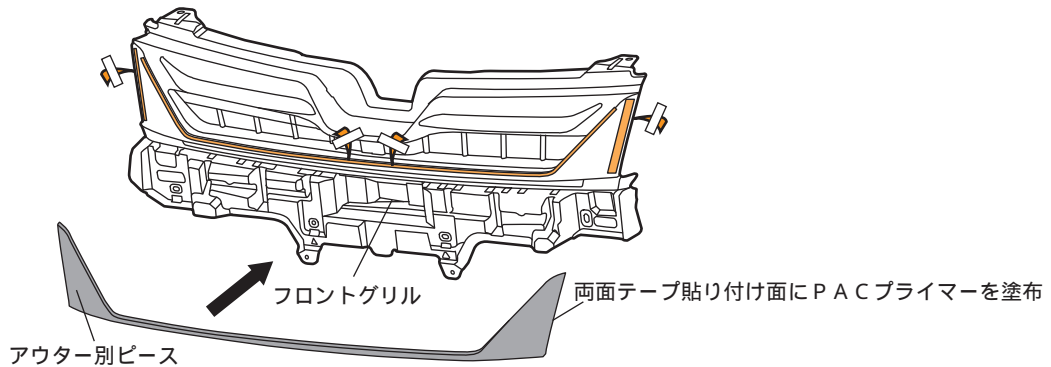
図2



1. 図2のようにフロントグリルの離型紙を、矢印の向きに約30mm剥がし、マスキングテープ等で表側に貼付ける。  
(左右各2箇所)

△注意：両面テープの離型紙をすべて剥がしてしまうと、正しい取付位置に取付けが出来なくなります。

図3

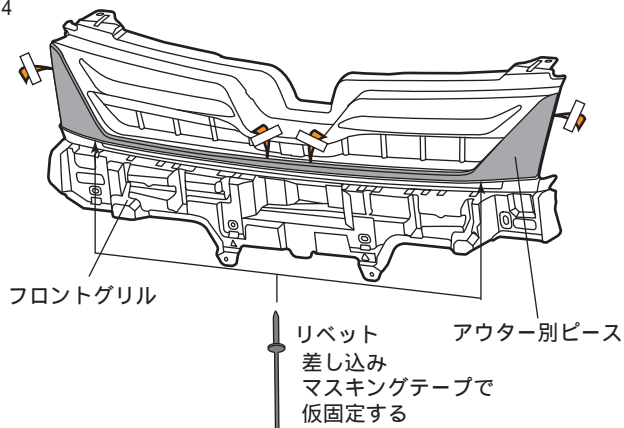


2. 図3のように両面テープ貼付部の汚れを取り除き、IPA又はホワイトガソリンで一方向にふいて脱脂し、PACプライマーを塗布し、アウター別ピースをかぶせる。

△注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。又、プライマーのはみ出しは、シミの原因になりますので注意してください。

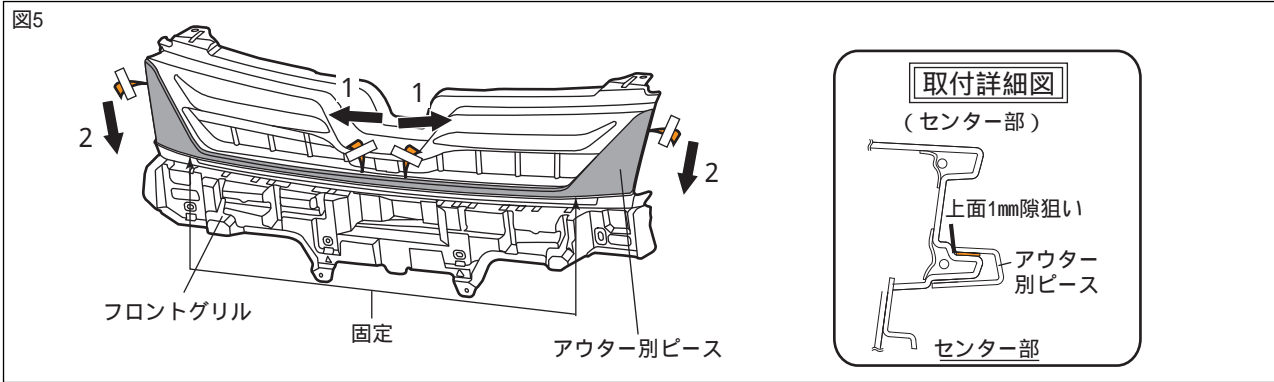
👉 アドバイス：脱脂、プライマー塗布後は、10分以上乾燥させてください。

図4



3. 図4のようにリベットを差し込みマスキングテープ等で仮固定する。  
(左右各1箇所)

△注意：この時点でリベットを打ち込んでしまうと離型紙が剥がせなくなってしまう場合があります。

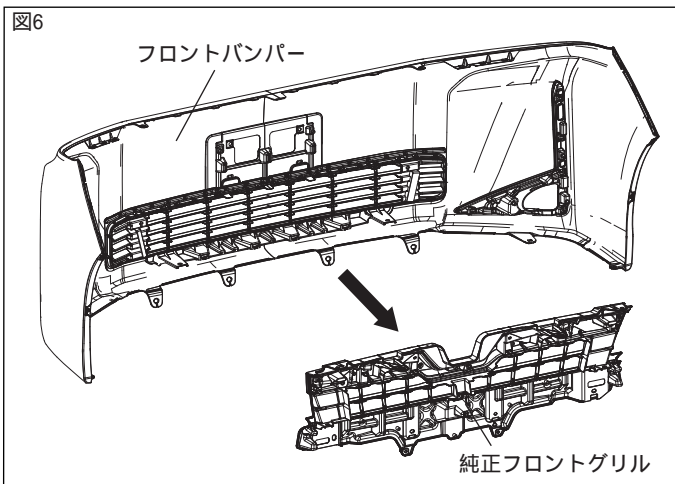


4. 図5のように各部のスキが一定になっていることを確認し、離形紙を番号順に剥がしながら貼付け圧着する。{ 49N ( 5Kg f ) 以上 } (左右各2箇所)
6. 仮固定したリベット を打ち込み固定する。 (左右各1箇所)

△ 注意：両面テープの接着力最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40 程度に暖めてください。

△ 注意：両面テープの離型紙を指示した順に剥がさなかった場合、隙が発生する恐れがあります。

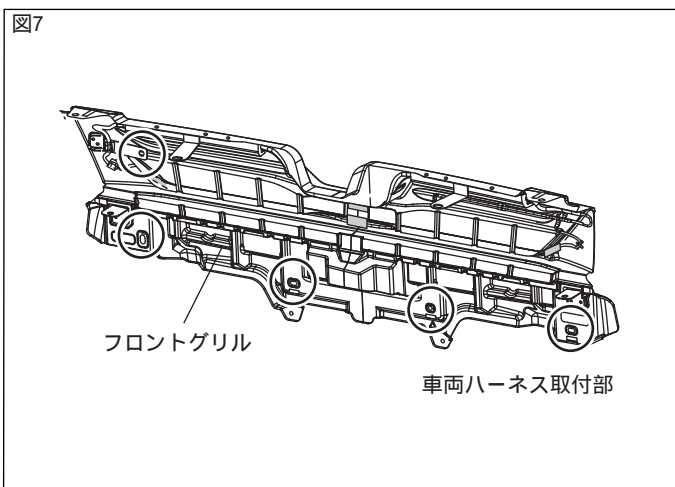
△ 警告：両面テープは十分に圧着して下さい。  
圧着が不十分な場合は、浮き剥れの発生する恐れがあります。



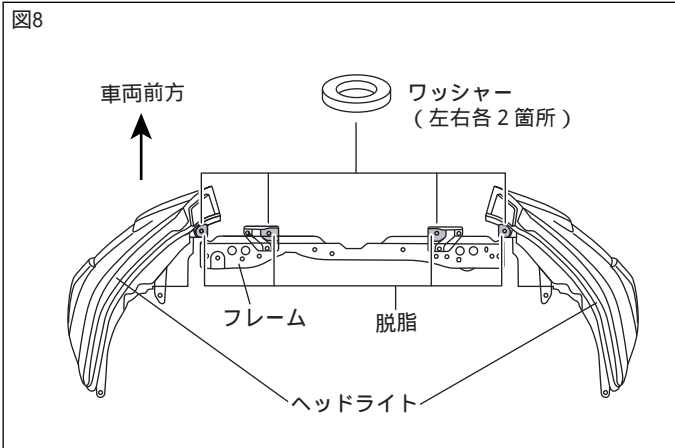
### 取付準備

1. 当該車両の修理書に従い、フロントバンパー、純正フロントグリルを取外す。  
その際に、車両ハーネスを純正フロントグリルから取り外す。

△ 注意：取外した車両ボルトとクリップ、車両ハーネスは、再使用しますので、無くさない様に必ず保管してください。



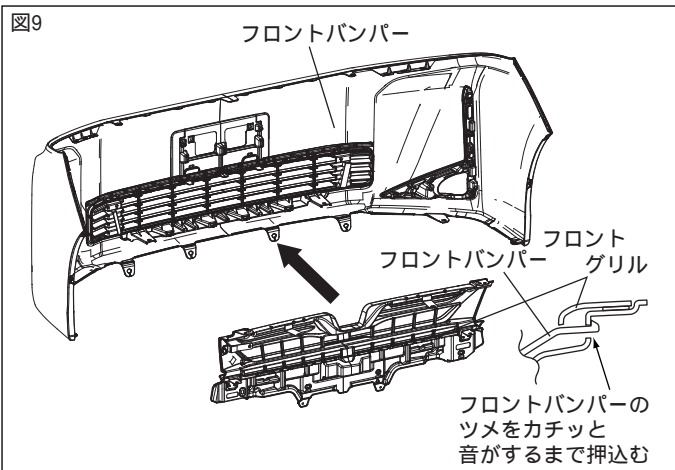
2. 図7のように取り外した車両ハーネスをフロントグリル に取り付け。  
( 5箇所 )



3. 図8のように純正フロントグリル上部が止まっていた車両フレーム、ヘッドライトを汚れを取り除き、IPA又はホワイトガソリンで方向にふいて脱脂する。  
(左右各2箇所)
4. 脱脂した箇所にラバーワッシャーを貼り付ける。  
(左右各2箇所)

**アドバイス:**脱脂作業要領書(別紙)を参照してください。

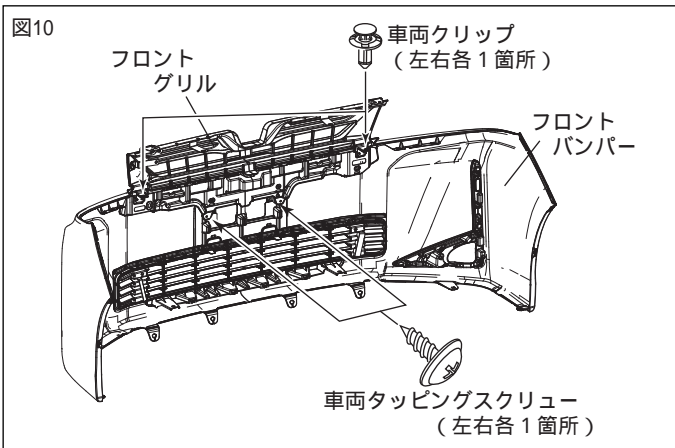
**アドバイス:**脱脂作業を行う際は、換気に注意して、火気を近づけないよう注意してください。



**取付要領**

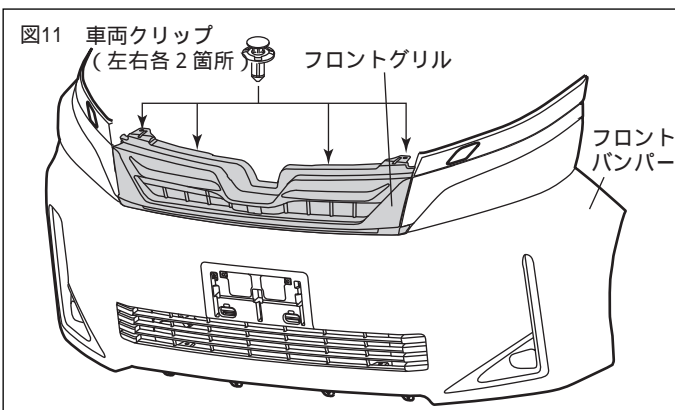
1. 図9の断面図のようにフロントグリル 下側にフロントバンパーのツメを差し込む。  
(左右各3箇所)

**注意:** 下側のツメはカチッと音がするまで確実に押込んでください。



2. 図10のように車両タッピングスクリュー、車両クリップでフロントグリルとフロントバンパーを組付ける。  
(車両クリップ左右各1箇所)  
(車両タッピングスクリュー左右各1箇所)

イルミありは、P9からのイルミネーションの取付けへ進んでください。



**イルミなしは、以下の3.~5. 作業を行ってください。**

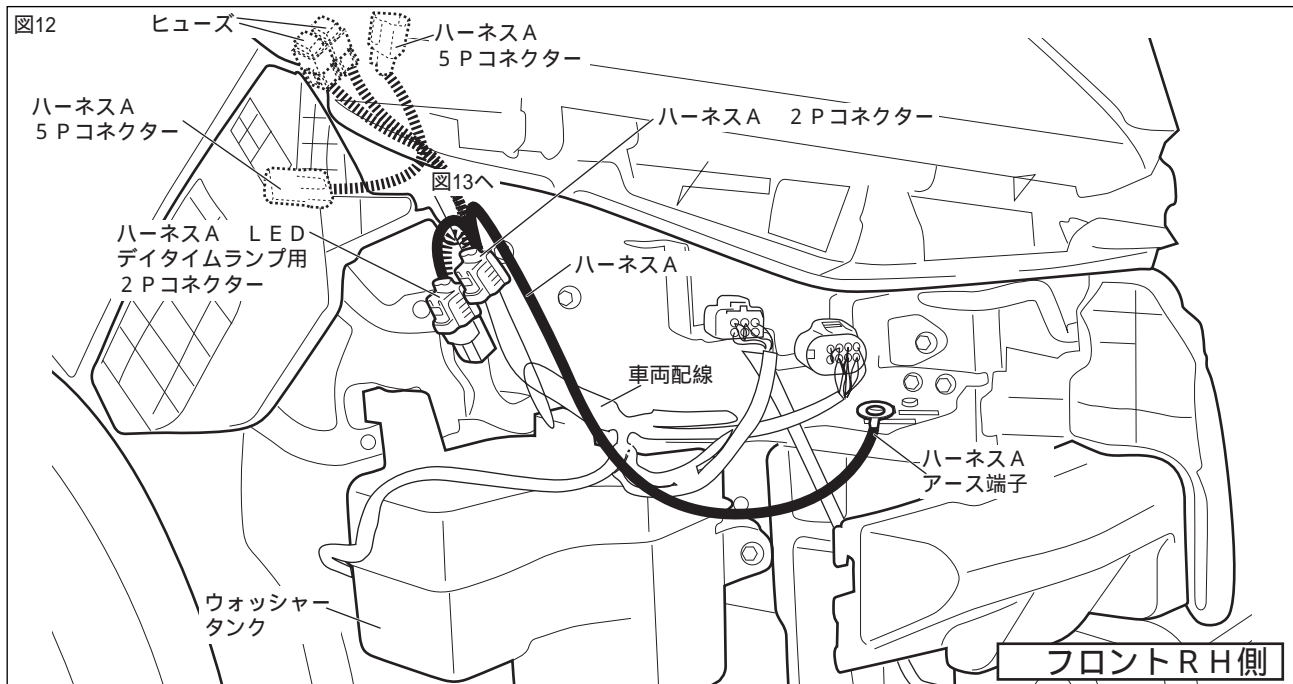
3. 車両にフロントバンパーとフロントグリルをかぶせる。
4. 図11のようにフロントグリル 上側を車両クリップで固定する。  
(左右各2箇所)
5. 当該車両の修理書に従い、フロントバンパーを取り付ける。



## イルミネーション取付けについて

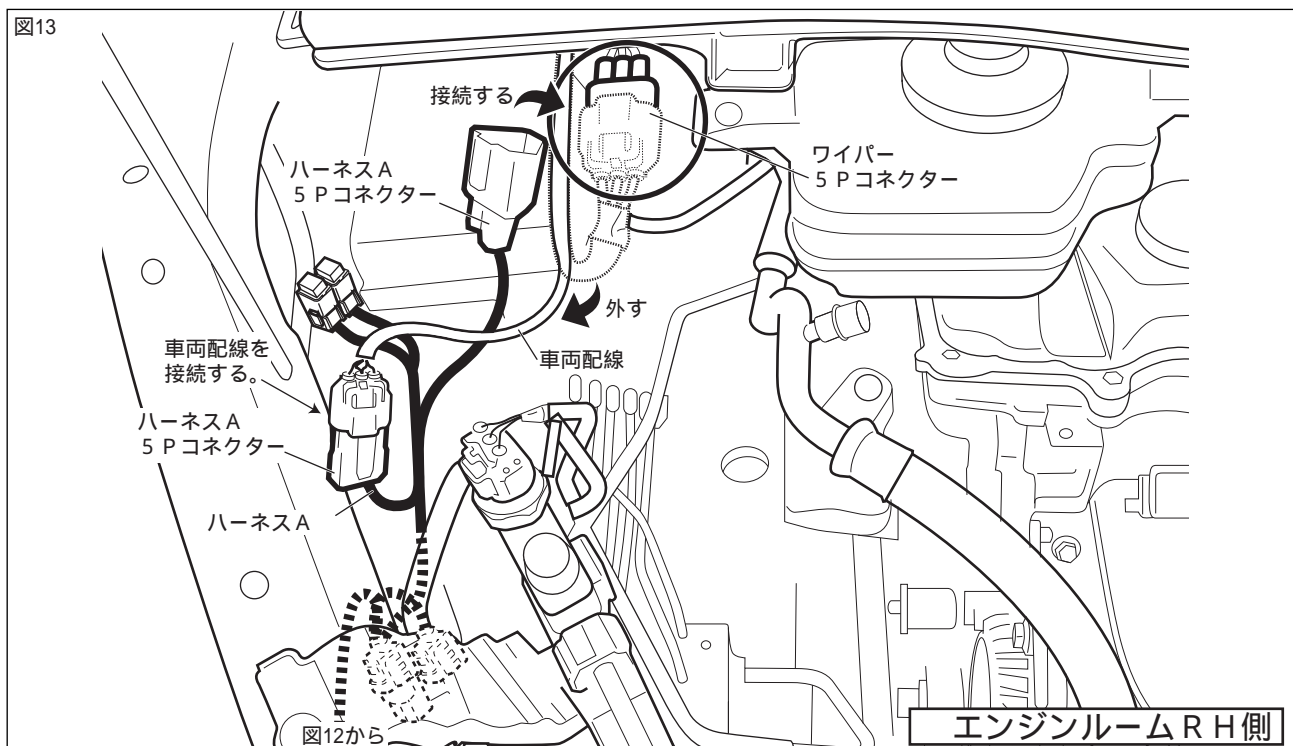
下記は、イルミネーションの取付け準備・配線作業を記載しています。  
 該当車両の修理書（トヨタ自動車㈱発行）に従い、本書の注意事項・要領のとおり作業を行ってください。

### エンジンルーム内配線の組付け



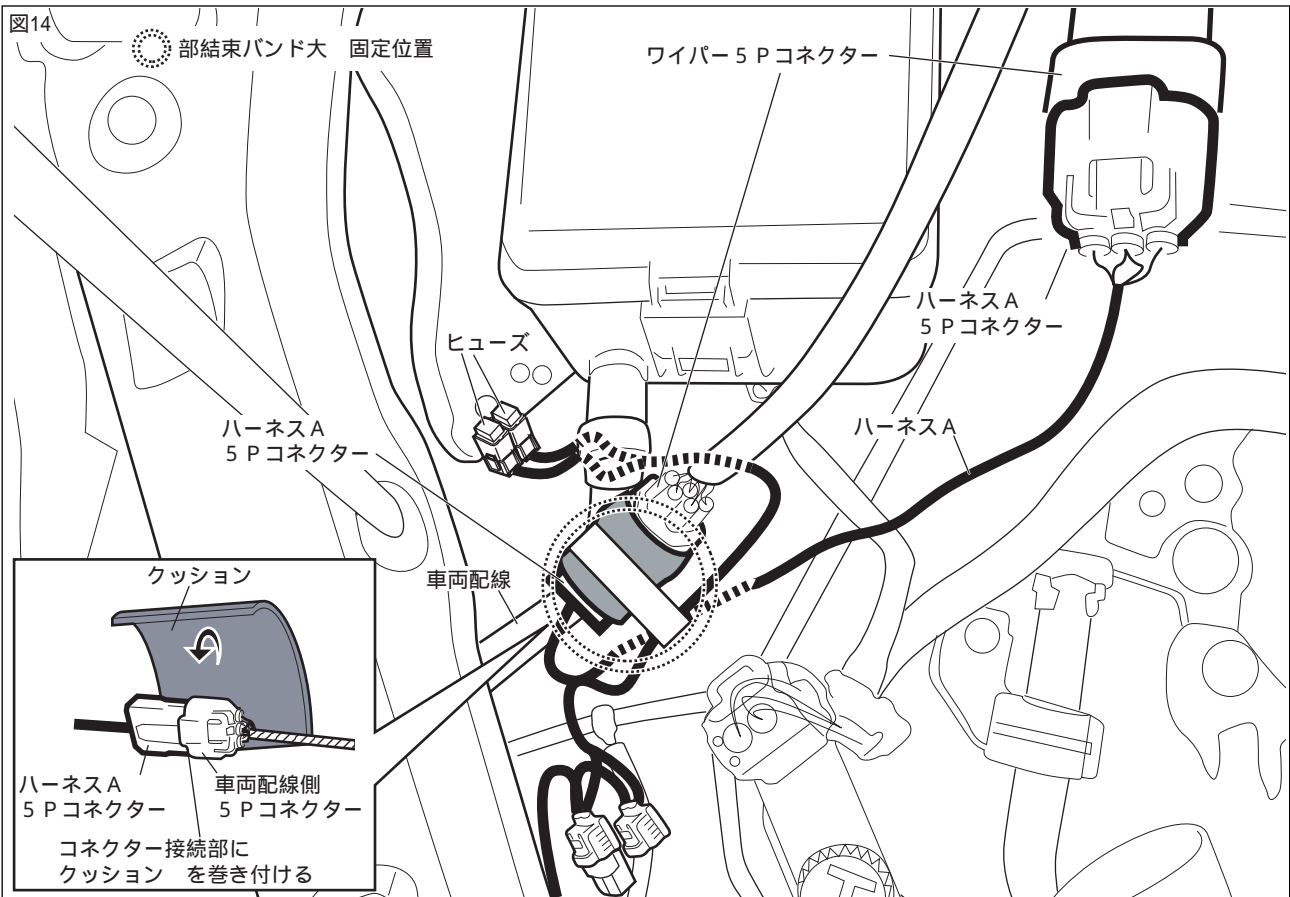
1. 図12のように、ハーネスA を引廻し、車両配線に沿って配置する。

△注意：製品ハーネスの経路上に鋭利なエッジが無いようにしてください。

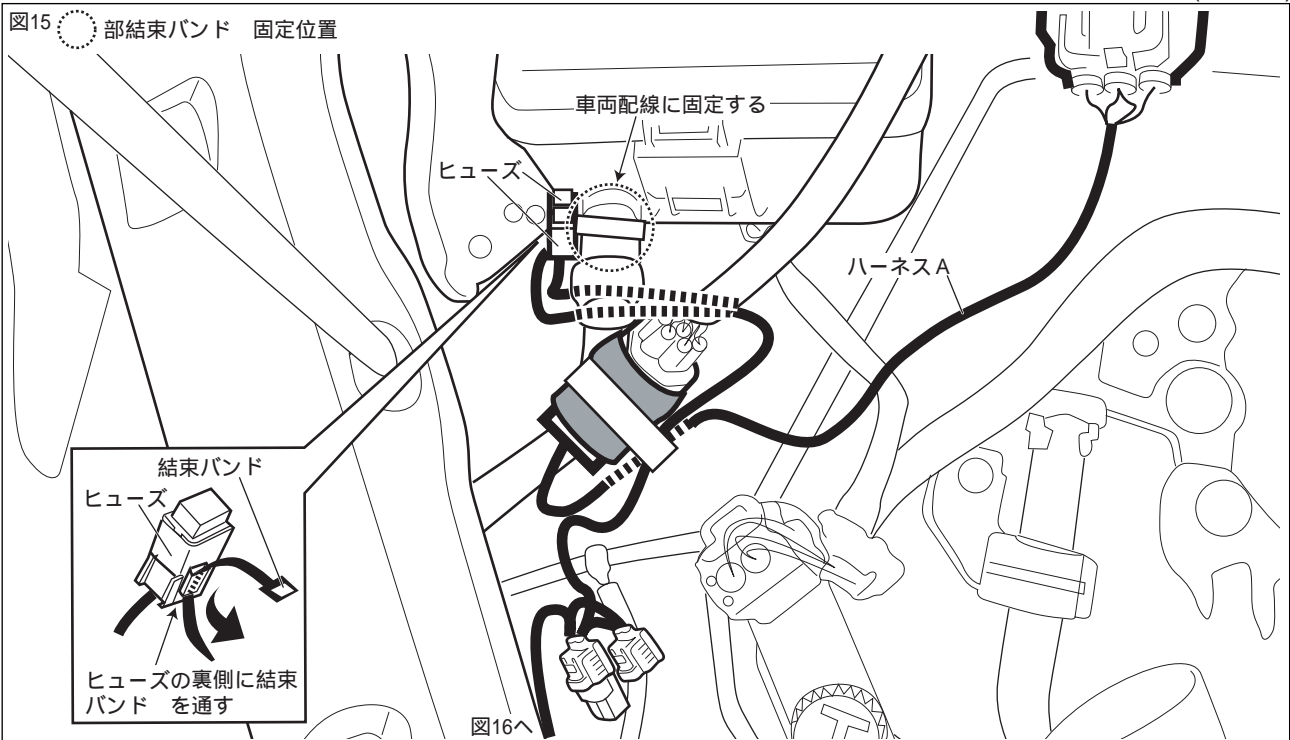


2. 図13のように、ワイパー 5 P コネクターを外し、ハーネスA 5 P コネクターを割り込ませて接続する。  
 ( 1 箇所 )

△注意：製品ハーネスの経路上に鋭利なエッジが無いようにしてください。

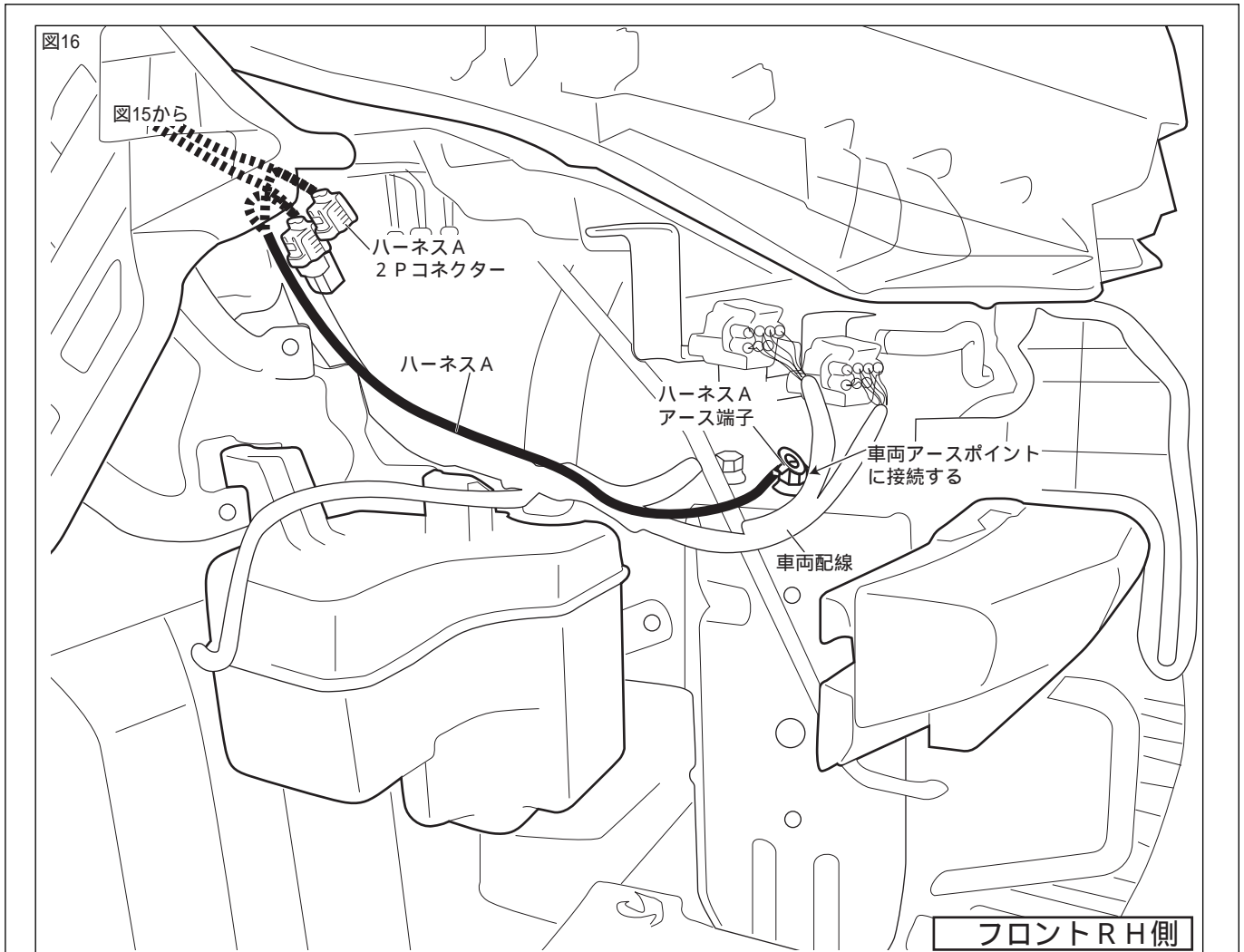


3. 図14のように、ワイパー5Pコネクタと接続したハーネスA 5Pコネクタに、クッションを巻き付ける。(1箇所)
4. 図14のように、車両配線に沿ってクッション部を結束バンド大で仮固定する。(1箇所)



5. 図15のように、ハーネスA ヒューズ部をヒューズのフタが上を向くように配策し、結束バンドを使用して車両配線に仮固定する。(1箇所)

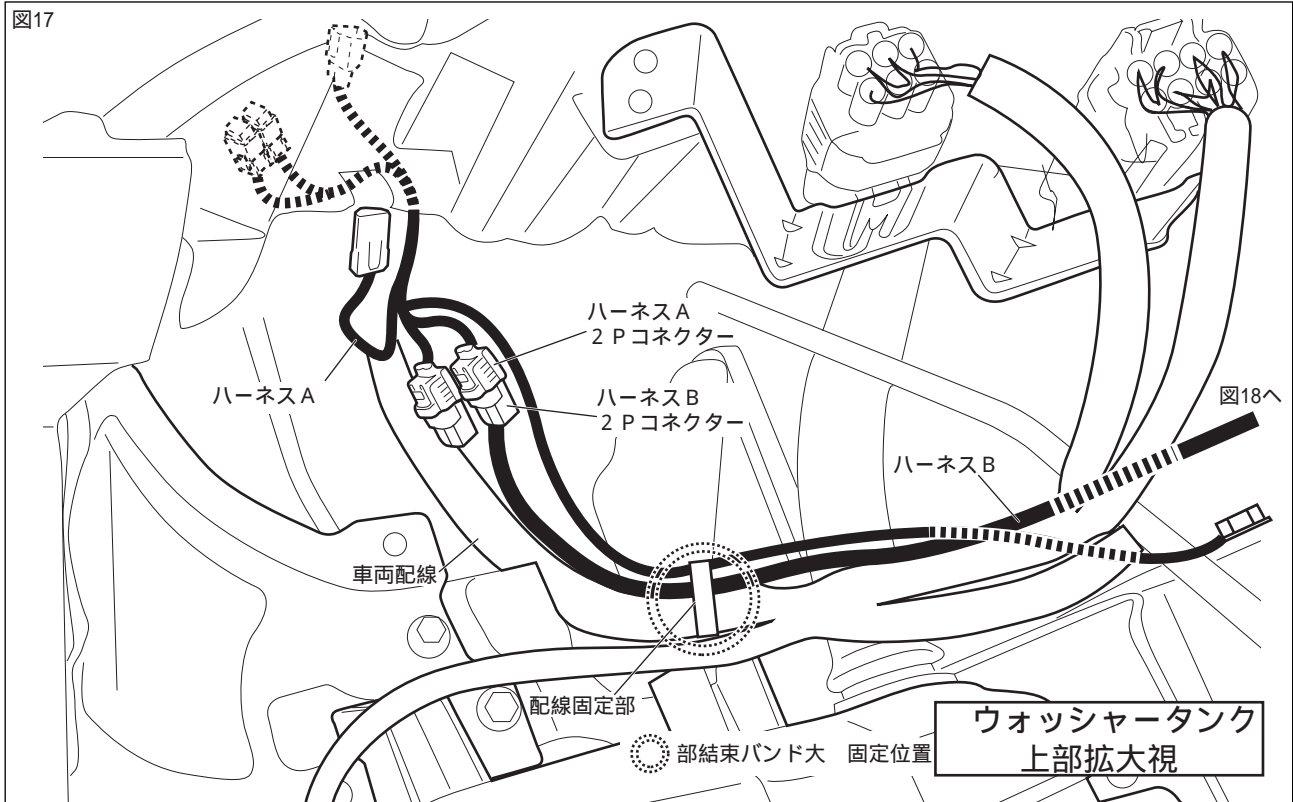
△注意：製品ハーネスを束ねる際に、無理に引っ張ったり曲げたりしないように注意してください。



6. 図16のように、ハーネスA アース端子を图中的アースポイントに接続して締め付ける。〔8.5 N・m〕

△注意：製品ハーネスの経路上に鋭利なエッジが無いようにしてください。

## 製品ハーネスの引廻し

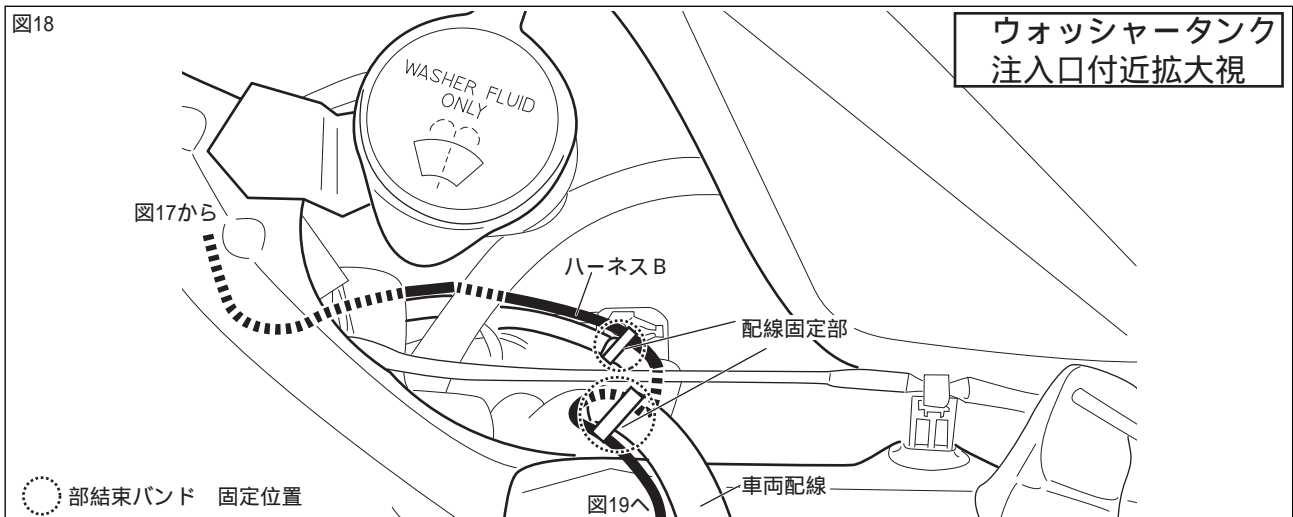


1. 図17のように、ハーネスB を、車両配線に沿って配置する。
2. 図17のように、ハーネスA 2 PコネクターとハーネスB 2 Pコネクターを接続する。 (1箇所)

△注意：製品ハーネスの経路上に鋭利なエッジが無いようにしてください。

3. 図17のように、ハーネスB を結束バンド大 を使用して車両配線に沿って車両配線固定部に仮固定する。 (1箇所)

△注意：結束バンドが素線部にかからない様に注意してください。

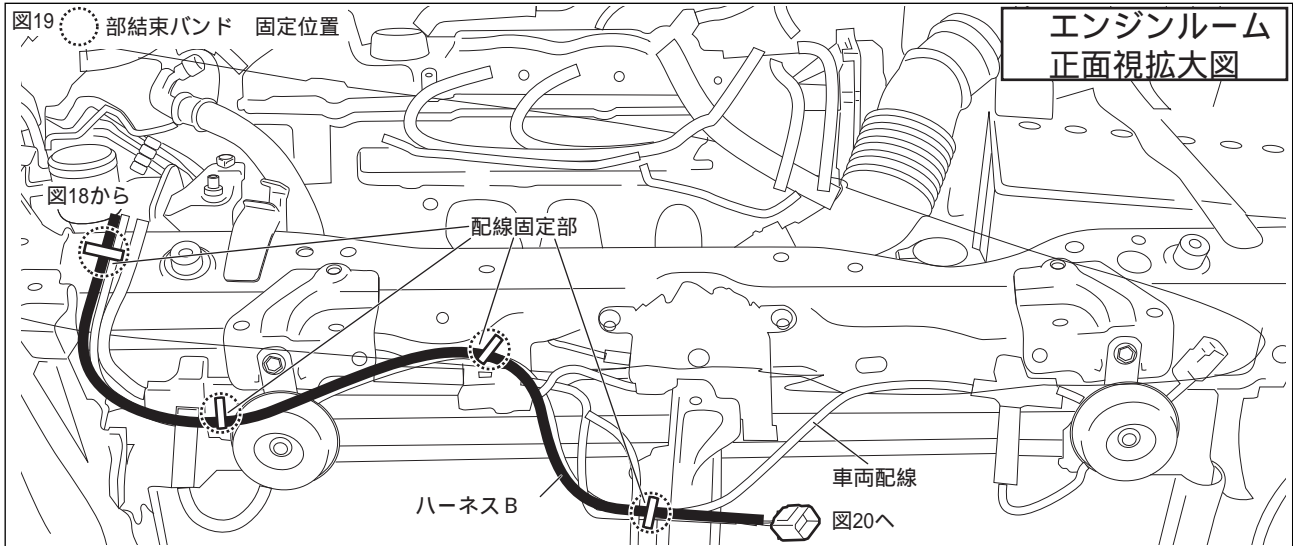


4. 図18のように、ハーネスB を、車両配線に沿って配置する。

△注意：製品ハーネスの経路上に鋭利なエッジが無いようにしてください。

5. 図18のように、ハーネスB を結束バンド を使用して車両配線に沿って車両配線固定部に仮固定する。 (2箇所)

△注意：結束バンドが素線部にかからない様に注意してください。



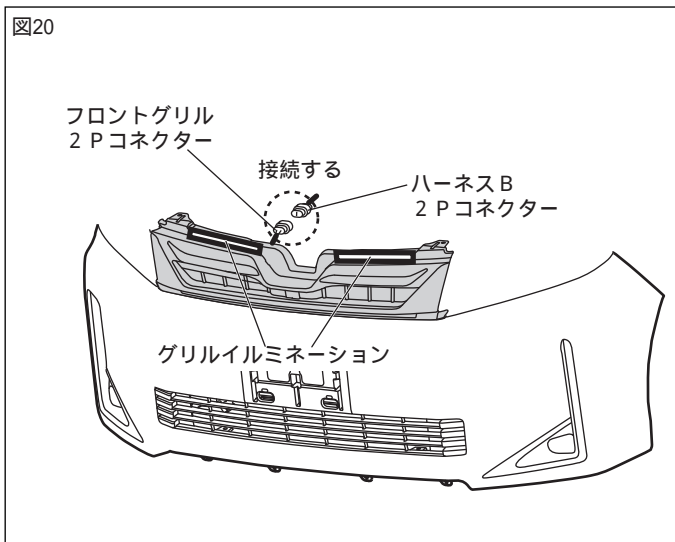
6. 図19のように、車両配線に沿ってハーネスB を配置する。

7. 図19のように、ハーネスB を結束バンド を使用して車両配線に沿って配線固定部に仮固定する。

(4箇所)

△注意：ハーネスの取り廻し経路上に、鋭利なエッジが無いようにしてください。  
又、結束バンドが素線部にかからない様に注意してください。

### 点灯確認



1. 車両にフロントバンパーをかぶせ仮合わせする。
2. 図20のように、ハーネスB 2Pコネクタとグリルイルミネーションの2Pコネクタを接続する。
3. バッテリー⊖端子を仮接続し、イグニッションONの状態にしてグリルイルミネーションランプが正常に点灯することを確認する。
4. 仮接続した⊖端子とグリルイルミネーションのコネクタを取外す。
5. 車両から仮合わせしたフロントバンパーを取外す。
6. 点灯確認後、仮固定している各部の結束バンドと結束バンド大のハーネスの張り・弛みを調整し、干渉等が無いことを確認して本締めする。

(9箇所)

### フロントバンパーの復元

1. 車両へフロントバンパーを組付ける。
2. ハーネスB 2Pコネクタとフロントグリル ハーネス2Pコネクタを接続する。
3. バッテリー⊖端子を復元する。
4. イグニッションONの状態にしてイルミネーションが正常に点灯することを確認する。
5. 車両修理書に従い、外した全ての部品を復元する。

### 取付完了後の点検・注意事項

1. フロントグリル、及びフロントバンパーがスクリュー・クリップにて、車両に確実に取付けられていることを確認する。
2. 製品、及び車両部品に傷を付けていないことを確認する。
3. ワイパーの作動点検を行う。
4. イグニッションONの状態にてイルミネーションが正常に点灯することを確認する。
5. 該当車両の修理書に従い、取付けに伴い脱着した部位の調整・再設定を行ってください。

回路図

図21

ヒューズ交換する際の使用ヒューズは2 Aを厳守の事。

